

平成26年度大学コンソーシアムとちぎ 学生活動支援事業 報告書

機 関 名	帝京大学 (宇都宮キャンパス)
団 体 等 名	天文部
学生代表者氏名 (所属・学年)	卯月 航 (理工学部航空宇宙工学科・3年)
責任教職員氏名	橋本 敬三 教授

1. 事業名	星空観望会
2. 実施時期	H26.5.31及びH27.2.9の2回
3. 実施場所	JR宇都宮駅前
4. 事業の内容等	星空観望会とは、駅前などに望遠鏡・双眼鏡を展開し、一般の方々に覗いてもらいつつ、説明を交えながら簡単な天体観測を体験していただく会である。会場の設営、機材の操作、説明、誘導などはすべて天文部部員が行った。 観望会では主に季節の星座、月、惑星などの天体を中心に観測の対象としている。街角観望会という名称では何をやる会なのか分かり辛いとの声をいただいたので、星空観望会へと名称を変更した。 昨年度よりポスターやSNS、立て看板などを用いて星空観望会の存在を強くアピールした。 今年度はJR宇都宮駅西口にて、5月31日と2月9日に観望会を行った。8月8日にも予定、準備をしていたが、雨天により中止となった。 添付書類に観望会の様子を記す。
5. 事業の成果と今後の課題	・事業の成果 昨年度に購入した双眼鏡を観望会に導入し、望遠鏡との見え方の違いを実際に体験できるようにした。同じく昨年度購入した足場を導入することで、今まで抱えなければ見ることのできなかった小さなお子さんでも望遠鏡を覗きやすくなった。5/31の観望会では200名弱の方に立ち寄っていただくことができ、広報活動の成果が出てきたと言える。 ・今後の課題 今年度も多くの方に天文に触れ合っていただくことができたため、今後も天文に触れ合う機会を作りたいと考えている。

(注) 1. 記述が枠内に収まらない場合は、枠を拡大してください。

2. 事業内容がわかるような資料や写真などがあれば添付してください。

報告書(添付書類を含む)はA4判5枚以内にまとめてください。

3. この報告書は、各関係機関等に公表するとともに、大学コンソーシアムとちぎのホームページへの掲載を考えております。また、次年度以降の学生活動支援事業に役立てていきたいと思っております。

- ・開催場所の詳細（ペディストリアンデッキ上で実施した）



- ・人員配置図



赤丸：望遠鏡

緑丸：望遠鏡操作・案内班

青丸：誘導・広報班

※通行の邪魔にならないよう端に寄って行う

・平成26年5月31日18時～21時

観測対象：火星、木星、春の星座



機材積み込みの様子



新しく作成した看板と部員が案内している様子



望遠鏡について解説している様子



足場を使って望遠鏡を覗いている様子

・平成27年2月9日18時～20時

観測対象：月、木星、冬の星座



機材展開の様子



星空の案内をしている様子